

Kanayamachi Rakuichi

金屋町楽市 in さまのこ 芸術文化学部地域連携プロジェクト

富山大学芸術文化学部教授 武山 良三



田中信幸氏作品 手前が『イメージの皮膚Ⅰ』、奥が『イメージの皮膚Ⅲ』

■ 10年間の継続が生み出した「地力」

高岡鋳物発祥の地・金屋町で2008年に始めた「金屋町楽市inさまのこ（以下楽市）」は、2017年度で10回目となりました。地域住民はじめ関係者からの積極的な関与が拡大し、また参加学生にも経験の共有化が行われた結果、取り組み内容を充実させることができました。まさに「継続は力」を実感した年度になりました。

今回はテーマを「和の心」として、工芸や伝統的な町並みの背景となる和の文化をあらためて考えることにしました。その象徴的展示として、金森藤平家において、漆を用いた造形作品で国際的にも評価されている金沢美術工芸大学教授の田中信行氏の造形作品と、2017年で555年の歴史を誇る池坊の立花とを展示しました。立花は、楽市の開催当初から茶会及び生花展示を担当してきた工藤泰子氏と、映画「花戦さ」での作品が話題となった池坊教授・西田永氏とが共同で制作しました。初日の9月23日午後には、田中氏と華道家元池坊総務所事務総長の池坊雅史氏とによる作品解説を行い、和の文化の精神性や多様性について考えました。

町屋展示では、今回から実行委員会に加わった畠春齋氏の尽力により、伊藤赤水、井上萬二、14代目 酒井田柿右衛門、徳田八十吉、中島宏、吉田美統の人間国宝各氏による陶芸作品がズラリと並ぶ、見応えのある展示を実現できました。

楽市は、芸術文化学部のプロジェクト授業として実施していますが、2017年度は40名の履修がありました。それぞれが学んでいる専門性に合わせて担当を決めて取り組みました。楽市の人気企画となった着物ファッションショー「KANAYAこれくしょん」では、夏休み期間中に十分な時間をかけて練習を行いました。金屋町住民で日本舞踊師範の政地真実氏から基本的な所作や振り付けの指導を受け、本番では観客から拍手がおこる程の出来映えとなりました。新企画として住民へのモデル募集を行い、親子でのウォーキングが実現しました。学生で完結することなく、地域の方々と共につくりあげるショーの足がかりができました。

作品の展示は、キュレーションを学ぶ学生が担当しました。事前に作品に関する情報を収集し、当日作品解説を本格化させたところ「学生さんの説明が良かった」とのアンケート結果が得られました。

楽市では、年々事業予算が縮小し、金屋町の世帯数も半減するなど取り巻く環境が大きく変化してきています。10回をひとつの節目として、来年度以降の開催内容については再検討していかなければならない状況です。この間に育まれた「地力」を実感できた今年度、それを資源として、地域の方々が主人公となるような取り組みを目指して、今後も連携に努めていきたいと思えます。

— 金屋町楽市inさまのこ(2017) —

[開催テーマ]

「和の心」

[開催日]

平成29年9月23日(土)、24日(日)

[開催場所]

高岡市金屋町一帯（石畳通り及びその周辺）

[主催]

金屋町楽市実行委員会

以下構成団体：富山大学芸術文化学部、金屋町自治会、富山ガラス工房、高岡市デザイン・工芸センター、伝統工芸高岡銅器振興協同組合、高岡市、高岡市教育委員会、高岡市観光協会、高岡商工会議所

[後援]

北日本新聞社

[協力] 公益社団法人日本クラフトデザイン協会、金屋町七福会、株式会社玉川堂、越中瀬戸焼 かなくれ会、池坊、草月流、嵯峨御流、株式会社北陸銀行、高岡信用金庫、一般財団法人北陸予防医学協会、山元醸造株式会社、ケアホームみどり、ノースランド株式会社

[協賛]

三協立山株式会社、三芝硝材株式会社、和楽庵、藤岡敦子礼法きもの学院、片山文三郎商店



立花：西田永氏・工藤泰子氏 右手で作品解説するのが池坊雅史氏

[運営]

総括：加藤昌宏、企画：武山良三、街区設計・什器設計：渡邊雅志・横山天心・萩野紀一郎、展示：畠春斎・大寺康太・梶原寿治・高川昭良・野田雄一、お茶席：小泉昇・小久保瑛子・般若陽子

[事務局]

高岡市産業振興部商業雇用課

[工芸作品展示出展作家]

● 実行委員会推薦作家

伊藤赤水、井上萬二、魚住安信、越中瀬戸焼 かなくれ会（加藤聡明、北村風巳、釋永由紀夫、釋永陽、吉野香岳）、内島正雄、大澤光民、岡本佳子、小原好喬、工藤泰竹、黒田昌吾、ゴロンドリーナ、佐伯守美、酒井静女（故人）、酒井田柿右衛門（十四代・故人）、坂井直樹、佐野猛、佐野曜子、釋永維、Shimoo Design、須賀松園（故人）、田中信行、田端志音、玉川達士、玉川宣夫、塚本治彦、寺本守、徳田八十吉、中里逢庵、中島宏、中田一於、中村孝富、西田永、野田雄一、畠春斎、畠山耕治、林哲三、葉山有樹、般若泰樹、松本達弥、宮崎匠、吉田美統、由水十久（二代）

● 金屋町楽市賞受賞作家

伊藤慎、梶原朋子、クリエイ党、鈴木晴子、光井威善、武蔵川裕実、森裕一朗、渡辺秀晴

● 日本クラフトデザイン協会会員

相川繁隆、石田憲志、磯谷晴弘、伊藤悦子、岡本昌子、菅野靖、北里由利、木全本、栗原くみこ、柴木正敏、白尾由美、新啓太郎、神芳子、玉邑みち子、寺澤彰紘、内藤広宣、西川雅典、松村潔、森明宏、安井桂子

● 富山ガラス工房

あさり、池田桃子、内田絹子、内田悠介、金東希、クレウマン・イングリッド、古賀雄大、小寺暁洋、小林洋行、三瓶茜、下田顕生、小路口力恵、杉江真奈美、鈴木亜紀子、高橋俊順、竹田舞由子、東南早織、中須杏奈、廣瀬絵美、三野直子、森智広、山本詩子、吉積彩乃、輪島明子、和田修次郎



学生が企画・実施する着物ファッションショー「KANAYA これくしょん」

● 富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科
教員、卒業・修了生、在学生

岡島由季、小川太郎、三宮千佳、杉本真唯、高島圭史、高橋 誠一、林暁、平澤紗英

● 公募作家

市川知也、岩本清商店、mm（高瀬清二）、奥川領造、小野寺裕司、勝本幸一、勝本奈緒、金沢職人塾（青木小波、太田正伸、大竹喜信、高田千春、武部徹、鶴見晋史、増田守世）、狩野博恵、かんか、木和田里美、竹多宏治、火の川焼 松江陶苑（福島絵美）、平尾健、福田昭一、本間友幸、松村潔、森和彦、森裕一朗、山口和利、山田幹雄、山本瑞生

[その他の事業]

● 金屋町茶会

・「和ノ席」席主：般若陽子／宗泉寺
・「寂ノ席」席主：畠山耕治、協力：藪内流 工藤誠己／大寺家滴翠庵

・「清ノ席」席主：小泉昇／小泉家

・「敬ノ席」席主：富大芸文茶道部／緑地公園

● 町屋生花

・池坊：中川雅風、中川喜代美
・草月流：白崎秀畔、梶井恵青、塚島隆畔、松本柏秀
・嵯峨御流：篠原節甫、加須屋美枝甫、谷道美智甫

● ワークショップ

・錫の鋳物：鋳物工房 利三郎
・銅の鋳物：伝統工芸高岡銅器振興協同組合
・とんぼ玉：富山ガラス工房
・うちわ：富山大学芸術文化学部アートフォーオール

● KANAYAこれくしょん：富山大学芸術文化学部生

● 展示作品解説：田中信行、池坊雅史

● ギャラリートーク：富山大学芸術文化学部生

● 金屋町小唄：玉葉会

● サウンドインスタレーション：太田豊

● 弥栄節披露：弥栄節保存会

● グルメ横丁：金屋町七福会